

（毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行）

縣報

號外

明治四十一年九月十二日 和歌山縣

公文

○和歌山縣令第六十一號

耕地整理工費補助規程左ノ通相定ム

明治四十一年九月十二日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

耕地整理工費補助規程

第一條 耕地整理ノ施行ヲ獎勵スル爲メ耕地整理法ニ基キ耕地ノ整理ヲ施行スル者ニ對シ本規程ノ定ムル所ニ依リ其ノ工費ヲ補助ス

第二條 補助金ハ毎年度施行豫定ノ耕地整理事業中道路、堤防、溝渠、橋梁、溜池ノ變更廢置又ハ灌漑排水ニ關スル設備者クハ工事ニ對シ當應ニ於テ査定シタル費額五分ノ一以內ヲ交付ス

第三條 補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ工事着手前第四條ノ施行豫定書ヲ添附シ第一號様式ニ依リ毎年十二月二十八日迄ニ當應ニ願出ツヘシ

第四條 施行豫定書ハ第二號様式ニ依リ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄チ一事業年度トシ其ノ年度内ニ施行スヘキ工事并豫算ヲ記載スヘシ

第五條 前條ノ施行豫定書ヲ變更セントスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ費額ニ異動ヲ生シタルトキハ補助ノ金額ヲ増減スルコトアルヘシ

縣報號外

明治四十一年九月十二日

第三種郵便物認可

一

第六條 補助金ノ交付ヲ受ケタル者施行豫定書ニ記載シタル工事ヲ其ノ年度内ニ修了シ得ザルトキハ年度後之ヲ繼續遂行スルノ義務アルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ年度經過後五日以内ニ其ノ工程ヲ具シ當廳ニ届出ツヘシ

第七條 施行豫定書ニ記載シタル工事終了シタルトキハ五日以内ニ届出檢査ヲ受ケヘシ

第八條 補助ノ交付ヲ受ケケル者施行豫定ノ工事ヲ中止シ又ハ廢止シタルトキ若クハ第五條第一

項第六條第七條ニ違背シタルトキハ補助金ノ全部又ハ一部ノ返納ヲ命スルコトアルヘシ

第九條 本規程ニ依リ當廳へ提出スル書類ハ所轄町村役場及郡市役所ヲ經由スヘシ

附 則

第十條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十一條 本規程施行前ニ着手シタル工事ニシテ本規程施行後竣成スルモノニハ本規程ニ依リ補助金ヲ交付ス

前項ノ出願期限ハ本年十一月三十日迄トス

第一號様式

耕地整理工費補助願

何郡何町村大字何耕地整理地區ニ於テ別紙施行豫定書ノ通り耕地整理施行可致ニ付耕地整理工費補助規程ニ依リ補助金御下付相成度別紙施行豫定書相添へ此段相願候也

明治 年 月 日

知 事 宛

何耕地整理地區整理委員長

氏

名 印

備考

一、耕地整理委員長ナキトキハ整理委員又ハ發起人連署スルヲ要ス以下同シ

第二號様式

耕地整理工事施行豫定書

計	何郡何町村大字何字	整理地區		整理費用		規程第二條		同 上	内 譯	記 事
		面 積	豫 算 額	ノ 工 事 費	工 事 區 分	金 額				
	町	二〇〇〇〇〇	三、〇〇〇〇〇圓	六〇〇〇〇〇圓	何	二〇〇〇〇〇圓				
	一〇〇〇〇〇	一、五〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	何	五〇〇〇〇〇				
	何	何	何	何	何	何				

右ノ通候也

明治 年 月 日

備考 一、工事區分ハ道路、堤塘、橋梁、溝渠、溜池、揚水機、暗渠排水并其ノ他ノ灌溉排水ニ

關スル設備及工事ニ分ツヘシ

二、整理地區施行豫定ニケ年度以上ニ涉ルモノハ朱書ヲ以テ其ノ總額ヲ傍書シ當該年度施行豫定ノ分ヲ墨書スヘシ

○和歌山縣令第六十二號

明治四十一年七月縣令第三十號獸疫豫防令中「奈良縣磯城郡」ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十一年九月十二日

一 兵庫縣印南郡

和歌山縣知事 伊澤多喜男

何耕地整理地區整理委員長 氏 名 印

○和歌山縣告示第三百一號

本縣度量衡器臨檢及取締規則第一條ニ依リ伊部郡各町村ニ於ケル度量衡器定期臨檢期日場所等左ノ相リ相定ム

明治四十一年九月十二日

和歌山縣知事

伊 澤 多 喜 男

臨檢期日

臨檢所ノ位置

臨檢ノ區域

十月一日

見好村役場

見好村

全月二日

天野村役場

天野村

全月四日

花園村役場

花園村

全月六日

高野村役場

高野村

全月八日

九度山村役場

九度山村 河根村

全月九日

富貴村役場

富貴村

全月十一日

隅田村役場

懸野村 隅田村

全月十二日

橋本町役場

橋本町、紀見村、山田村、
學文路村、岸上村

全月自十三日
至十六日

橋本町役場

應其村 端場村

全月十七日

應其村役場

應其村

全月十八日

名倉村役場

名倉村 信太村

全月十九日

妙寺村役場

妙寺村

全月二十日

笠田村役場

大谷村 四郷村 笠田村

以上

○和歌山縣告示第三百二號

奈良、徳島、愛媛、廣島、鹿兒島、大分ノ各縣ニ於テ牛疫豫防ニ關スル左記縣令發布ノ旨通知アリ

明治四十一年九月十二日

和歌山縣知事

伊澤多喜男

奈良縣令第八〇號

明治四十一年七月 奈良縣令第六十號中左ノ區域ヲ追加シ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年九月二日

奈良縣知事

青木良雄

生駒郡平群村大字三里、平等寺、椿井

奈良縣令第八二號

明治四十一年七月 奈良縣令第六十號中左ノ區域ヲ追加シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年九月四日

奈良縣知事

青木良雄

生駒郡龍田町 一圓

南葛城郡秋津村大字蛇穴

生駒郡三郷村大字勢野

徳島縣令第九十六號

牛疫終熄ニ付明治四十一年七月二十九日縣令第八十七號及全年八月十九日縣令第九十三號廢止ス

明治四十一年九月三日

徳島縣知事

德島縣令第九十七號

明治四十一年七月十三日德島縣令第八十號及全年全月十六日德島縣令第八十二號ヲ廢止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年九月五日

德島縣知事 渡邊勝三郎

愛媛縣令第八十八號

明治四十一年七月愛媛縣令第五十一號ヲ廢止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年九月三日

愛媛縣知事 安藤謙介

參照 縣令第五十一號ハ牛、羊、山羊、ノ 出入往來其他病毒汚染ノ虞アル物件運搬停止ニ關ス

ル件ナリ

愛媛縣令第八十九號

明治四十一年七月愛媛縣令第五十四號ヲ廢止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年九月三日

愛媛縣知事 安藤謙介

參照 縣令第五十四號ハ牛疫豫防ノ爲メ越智周桑郡及温泉郡ノ一部ニ對シ牛馬市等開設禁止ニ

關スル件ナリ

廣島縣令第八十一號

明治四十一年七月廣島縣令第四十五號牛羊ノ出入往來及病毒傳播ノ疑アル物品ノ運搬停止區域中豐

田郡本郷村ノ次ニ左ノ區域ヲ追加ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年八月二十一日

賀茂郡東志和村

縣令第五十九號

廣島縣知事

宗 像

政

明治四十一年七月縣令第五十七號中奈良ノ次「東京、千葉、滋賀」ノ六字ヲ全豫防區域中兵庫縣飾磨郡

ノ下ニ「神戸市」ヲ廣島縣安藝郡ノ下ニ「深安郡世羅郡」ヲ大阪府南河内郡ノ下ニ「西成郡」ヲ德島縣

三好郡ノ下ニ「美馬郡」ヲ三重縣名賀郡ノ下ニ「一志郡、西牟婁郡、南牟婁郡」ヲ奈良縣生駒郡ノ下ニ

「奈良市、南葛城郡、北葛城郡、吉野郡、宇智郡」ヲ奈良縣ノ次ニ「東京市、荏原郡、滋賀縣栗太郡、甲賀

郡、千葉縣安房郡」ヲ追加ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス
明治四十一年九月二日
大分縣令第五八號

北海部郡津組村ニ對シテハ本年七月本縣令第三十九號ノ施行ヲ解ク
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス
明治四十一年九月一日
大分縣知事 千葉 貞 幹

和歌山縣告示第三三三號

東京、大阪、奈良、兵庫、三重ノ各府縣ニ於テ左ノ通牛疫發生撲滅モシ旨通知アリタリ

明治四十一年九月十二日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

東京府 九月三日往原郡ニテ一頭

大阪府 八月二十五日南河内郡ニテ一頭、全二十六日東成郡ニテ二十七頭、南河内郡ニテ二頭、

全二十九日西成郡ニテ六十一頭

奈良縣 自九月三日至今月七日生駒郡ニテ十四頭 南葛城郡四頭

兵庫縣 九月四日印南郡ニテ三頭

三重縣 九月四日名賀郡ニテ一頭

○和歌山縣告示第三百四號

一 愛媛縣ニ於テ虎列刺豫防ノ爲福岡縣門司港及若松港ヨリ來ル船舶ニ對シ本月五日ヨリ左記諸港

ニ於テ船舶檢疫ヲ施行ス

一 温泉郡 三津濱港、高濱港

一 越智郡 今治港

一 西字和郡 八幡濱港

一 北字和郡 宇和島港

一 岡山縣ニ於テ虎列刺豫防ノ爲福岡縣門司港及若松港ヨリ來ル船舶ニ對シ本月七日ヨリ左記諸港

ニ於テ船舶檢疫ヲ施行ス

一 上道郡 三崎港

一 兒島郡 日比港 下津井港

一 邑久郡 牛窓港

一 淺口郡 玉島港

一 廣島縣ニ於テ虎列刺豫防ノ爲福岡縣門司港及若松港ヨリ來ル船舶ニ對シ本月七日ヨリ左記場所

ニ於テ船舶檢疫ヲ施行ス

一 佐伯郡 嚴島町

一 廣島市 宇品

一 吳市 河原石

一 尾道市

一 山口縣ニ於テ虎列刺豫防ノ爲福岡縣門司港及若松港ヨリ來ル船舶ニ對シ本月六日ヨリ左記諸港

ニ於テ船舶檢疫ヲ施行ス

一 下關港

一 熊尾郡 室津港、上關港

右通知アリメリ

明治四十一年九月十二日

○和歌山縣告示第三百五號

和歌山縣知事

伊澤多喜男

那賀郡池田村大字南勢田六百三十三番地

開業産婆

高橋キクノ

右ノ者今般婚姻ノ旨ヲ以テ訂正願出ニ依リ左ノ通り本日和歌山縣産婆名簿ヲ訂正ス

明治四十一年九月十二日

和歌山縣知事

伊澤多喜男

那賀郡長田村大字南志野六百六十一番地

幅丸キクノ

○通牒照會

内第一第二三四號

通牒

明治四十一年九月十二日

内務部長 佐藤孝三郎

郡市 長殿

町村役 場御中

水利組合規約ノ件ニ付左記通牒候也

一本件準則別紙御參考トシテ及送付候

右

水利組合規約準則

水利組合規約準則例言

一、組合ノ名稱中ニハ其ノ種類ニ從ヒ普通水利組合又ハ水害豫防組合ノ文字ヲ用ウヘシ

二、水利組合法第九條事業兼營ノ組合ニ關シテハ本準則ヲ參酌シテ規定スヘシ

三、水利組合法第二十五條議員中ヨリ議長副議長ヲ選舉スル組合ニ在リテハ(普)第二十六條(次)

ニ一個條ヲ設ケ組合會ハ議員中ヨリ議長副議長ヲ選舉スルコト及議長副議長ハ議員ノ總選舉

毎ニ之ヲ改選スル旨ヲ規定スヘシ

四、水利組合法第三十二條總會ニ出席スヘキ組合員ニ關スル規定ハ本準則(普)第五條乃至第八條ヲ參酌シテ規定スヘシ

五、水利組合法第七十一條組合ノ聯合ニ關シテハ本準則ヲ參酌シテ規定スヘシ

六、本準則ニ掲クルモノ、外當該組合ニ於テ特ニ必要アル事項ハ之ヲ規定スヘシ

七、本準則(普)第四條(普)第五條選舉區ヲ設クルノ必要ナキモノハ之ヲ設クルニ及ハス

八、同(普)第五條(普)第六條選舉權ノ要件ハ一例ヲ示セルニ過キサレハ地方ノ情況ニ依リ適宜斟酌ヲ加フヘシ

九、同(普)第六條(普)第七條ハ選舉區ヲ設クル場合ニノミ必要アル規定ナリ

十、同(普)第八條ハ組合費ノ納額ヲ以テ定ムル場合ハ(害)第九條ニ準シ規定スヘシ

十一、同(普)第十二條(普)第十三條ノ名簿調製及縦覧ノ期日ハ異議ノ決定期日又ハ名簿確定期日等ヲ參酌シテ相當規定スヘシ

十二、選舉分會ヲ設クル組合ニ在リテハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

(一) 本準則(普)第六條(普)第七條ノ次ニ一條ヲ設ケ選舉分會ノ區劃ニ關スル事項ヲ規定スヘシ

(二) 同(普)第十二條(普)第十三條第一項ノ「選舉人名簿ヲ調製スヘシ」トアルヲ「選舉人名簿ヲ調製シ其ノ名

簿ニ依リ分會ノ區畫毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スヘシト規定スヘシ

(三) 同(普)第十三條ノ選舉ノ告示中ニ「選舉分會ノ區畫」ヲ加ヘ又一項ヲ設ケ選舉分會ハ本會ト

同日時ニ之ヲ行フヘキ旨ヲ規定スヘシ

(四) 同(普)第十四條中ニ管理者ノ求ニ依リ市町村長ハ分會掛長トナリ又管理者ハ分會毎ニ選舉

立會人ヲ設クル旨ヲ規定スヘシ

(五) 同(普)第十五條第二項ノ「選舉長」ノ下ニ「又ハ分會掛長」ヲ加フヘシ

同(普)第十六條第二項ノ「選舉長」ノ下ニ「又ハ分會掛長」ヲ加フヘシ

(六) 同(普)第十八條第四項ノ「選舉長」ノ下ニ「又ハ分會掛長」ヲ加フヘシ

同(普)第十九條ニ一項ヲ加ヘ選舉分會ニ於ケル投票ノ拒否ハ其ノ選舉立會人ノ議決ス

(七) 同(普)第二十一條ニ一項ヲ加ヘ分會掛長之ヲ決スヘキ旨ヲ規定スヘシ

同(普)第二十二條第一項ノ「選舉長」ノ下ニ「又ハ分會掛長」ヲ加ヘ又一項ノ次ニ一項ヲ設

ケ選舉分會掛長ハ投票函ト同時ニ選舉録ヲ本會ニ送致スヘキ旨ヲ規定スヘシ

十三、組合ニ水防組ヲ置キ出水ノ際特ニ防禦ニ從事セシムルノ設備ヲ爲スモノハ其ノ組織及職務

規程等ヲ組合規約中ニ規定スルモ妨ケナシ

普通水利組合規約準則 第一章 總則

第一條 本組合ハ某普通水利組合ト稱ス

第二條 本組合ハ灌溉(又ハ排水)ノ爲メ某川ヲ疏水シ(又ハ某溜池ヲ設ケ)(又ハ排水機ヲ設ケテ

某川ニ排水シ)(又ハ何々)及某所樋管及堤防ヲ修築保存(又ハ何々)スルヲ以テ目的トス

第三條 本組合ノ區域ハ(舊慣ニ依リ之ヲ定ムルコト)左(又ハ別冊調書)ノ如シ

某郡某町大字某字某 自何番 及何番 至何番

同 町大字某字某 自何番 至何番

同 字某 自何番 至何番

某郡某村大字某字某一圓

某市大字某字某 自何番 至何番

第二章 組合會ノ組織及選舉

第四條 組合會議員ノ定數ハ何人トス(又ハ何人)トシ選舉區ノ數及其ノ區域竝各選舉區ヨリ選出

スル議員數ヲ左ノ如ク定ム

第一區某郡某町(大字某) 何人

第二區同郡某村(大字某) 何人

第三區同郡某村(大字某) 何人

第四區某市(大字某)

何人

第五條 組合員ニシテ滿二十五年以上ノ男子區域内ニ於テ土地反別何程(又ハ地租何程)以上ヲ選舉期日前滿一年以上間斷ナク所有スル(又ハ納ムル)者ハ選舉權ヲ有ス但シ禁治産者準禁治産者ハ此ノ限ニ在ラス

家督相續ニヨリ土地ヲ取得シタル者ハ其ノ土地ニ付被相續人ノ所有シタル年限ヲ通算ス

共有者其ノ共有ノ土地ニ付前二項ニ該當スルトキハ總代人一人ヲシテ選舉權ヲ有セシム

六年以上ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ選舉權ヲ有セス

第六條 (選舉權ヲ有スルモノハ住所地ノ市町村(又ハ大字)ニ依リ所屬ノ選舉區ヲ定ム區域市町村(又ハ大字)内ニ住所ナキ者ハ所有ノ土地ノ所在ニ依リ若所有ノ土地ニシテ數選舉區ニ涉ル場合ニハ其段別(又ハ地租額)最多キ所ニ依リ其ノ之ニ依リ難キ場合ニハ本人ノ申出ニ依リ之ヲ定ム)

第七條 選舉權ヲ有スル者租稅滯納處分中ハ其ノ選舉權ヲ停止ス家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スル迄又禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄亦同ジ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス現役以外ノ兵役ニ在ルモノニシテ戰時又ハ時變ニ際シ召集セラレタルトキ亦同シ

第八條 組合員ニシテ區域内ニ於テ所有スル土地ノ段別(又ハ地租額)選舉權ヲ有スルモノ、最多ク所有スル者三人中ノ一人ヨリモ多キトシテ第五條第一項ノ要件ニ當ラスト雖選舉權ヲ有ス但

シ前條ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ

第九條 選舉權ヲ有スル組合員ハ被選舉權ヲ有ス但シ前條及第五條第三項ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一月ヲ經過セサル者亦同シ

一 所屬府(縣)郡官吏及有給吏員

二 組合ノ有給吏員

三 檢事警察官吏及收稅官吏

四 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師

五 小學校教員

組合ニ對シ工事ノ請負物并勞力其ノ他ノ供給契約ヲ爲シ若ハ組合ノ爲金錢出納ノ取扱ヲ爲ス者又ハ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ役員ハ被選舉權ヲ有セス

父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ組合會議員タルコトヲ得ス其ノ同時ニ選舉セラレタルトキハ得票ノ數ニ依リ其ノ多キ者一人ヲ當選トシ若同數ナルトキハ年長者ヲ當選トス其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ後ニ選舉セラレタル者議員タルコトヲ得ス

管理者又ハ其ノ代理者トノ間ニ父子兄弟タル緣故アル者ハ之ト同時ニ組合會議員タルコトヲ得ス若議員トノ間ニ其ノ緣故アル者管理者ニ指定セラレ又ハ其ノ代理者ト爲リタルトキハ其緣故アル議員ハ其ノ職ヲ失フ

第十條 組合會議員ノ任期ハ何年トス

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但シ闕員アリトキハ其闕員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ次ノ總選舉迄在任ス

第十一條 組合會議員中闕員ヲ生シ其ノ闕員議員定員數ノ三分ノ一以上ニ至リタルトキ又ハ監督官廳ノ命令アリタルトキ又ハ管理者若ハ組合會ニ於テ必要ト認ムキハ補闕選舉ヲ行フヘシ
補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

(補闕議員ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉區ニ於テ之ヲ選舉スヘシ)

第十二條 管理者ハ選舉期日前何十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ(選舉區毎ニ)選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉人名簿ヲ調製スヘシ

管理者ハ其選舉期日前何十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ何日間毎日午前八時ヨリ午後四時迄指定ノ場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間内ニ之ヲ管理者ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ管理者ハ縱覽期限後三日以内ニ組合會ノ決定ニ付スヘシ組合會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルキハ管理者ハ其ノ確定期日迄ニ修正ヲ加フヘシ
選舉人名簿ハ選舉期日ノ前三日ヲ以テ確定ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其確定シタル日ヨリ何年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用ウ

確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス確定名簿ニ登錄セラレタル者選舉權ヲ有セザルトキ亦同シ但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

異議ノ決定アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿ノ調製縱

覽修正及確定ニ關スル期日及期限等ハ管理者ノ定ムル所ニ依ル天災地變等ニ依リ名簿ノ喪失シタルトキ亦同シ

選舉人名簿調製後ニ於テ選舉ノ期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用キ縱覽修正及確定ニ關スル期日等ハ前選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス

第十三條 選舉ヲ行フルハ管理者ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ(各選舉區ニ於ケル)選舉會場投票ノ日時及選舉スヘキ議員數ヲ告示スヘシ

投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得(各選舉區ノ選舉ハ同日時ニ之ヲ行フヘシ)

第十四條 管理者ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス(各選舉區ニ於ケル選舉會ハ管理者又ハ其ノ求ニ依ル市町村長選舉長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス)管理者ハ(選舉區毎ニ)臨時ニ選舉人中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ

第十五條 選舉人ノ外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ選舉長ハ之ヲ制止シ命ニ從バサルトキハ之ヲ會場外ニ退出セシムヘシ

前項ニ依リ選舉會場外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉會場閉鎖後ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票スヘシ

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ管理者ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

(選舉人名簿ノ調製後選舉人ノ所屬選舉區ニ異動ヲ生スルコトアルモ其ノ選舉人ハ前所屬ノ選舉區ニ於テ投票ヲ行フヘシ)

第十七條 増員選舉補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一人ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第十八條 第八條第一項及第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得但

シ滿二十五年以上ノ男子ニ非サル者禁治産者及準禁治産者ハ必ス代人ヲ以テスヘシ

代人ハ帝國臣民ニシテ滿二十五年以上ノ男子ニ限ル

第五條第四項及第七條ニ當ル者ハ代人タルコトヲ得ス又一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス

代人ハ委任狀其ノ他代理ヲ証スル書面ヲ舉選長ニ示スヘシ第五條第三項ノ總代人モ亦此ノ例ニ依ル

第十九條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用非サルモノ

二 現ニ組合會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ

四 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

五 被選舉權ナキモノノ氏名ヲ記載シタルモノ

六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 投票ノ拒否及効力ハ選舉立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

第二十一條 組合會議員ノ選舉ハ有効投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ其ノ選舉スヘキ議員數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取リ年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第二十二條 選舉長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人二人以上ト共ニ之ニ署名スヘシ

選舉錄ハ投票選舉人名簿其ノ他關係書類ト共ニ選舉及當選ノ効力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

第二十三條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知(選舉區ヲ設ケタル場合ニ於テハ)シ

同時ニ選舉錄ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ管理者ニ報告スヘシ

當選者ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ(又ハ當選者ニシテ當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ)管理者ニ申立ツベシ

(一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキカヲ管理者ニ申立ツヘシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テサルモノハ總テ其當選ヲ辭シタルモノト看做ス)

第二十四條 組合會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ第二十一條ノ例ニ依リ之ヲ補フヘキ當選者ヲ定ム

第二十五條 得票數ノ査定ニ錯誤アリタル爲又ハ被選舉權ヲ有セサル其ノ他當選無効ト確定シタルトキハ第二十一條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ム

第二十六條 選舉又ハ當選無効ト確定シ又ハ議員ノ定數ニ足ラざる當選者ヲ得ル能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ對シ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第三章 組合吏員ノ組織及選任

第二十七條 本組合ニ常設委員何人(臨時委員何人)ヲ置キ組合員中被選舉權ヲ有スル者ニ就キ管理
理者ノ推薦ニ依リ組合會之ヲ選任ス

第二十八條 委員ニシテ其ノ資格ノ要件ヲ喪失スルトキハ其ノ職ヲ失フ

第二十九條 委員(常設)ノ任期ハ何年トス

第三十條 委員中欠員ヲ生シタルトキハ補欠選舉ヲ行フヘシ

補欠委員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス(委員一人ヲ置ク場合ニ於テハ本項ハ之ヲ除ク)
第三十一條 本組合ニ左ノ有給吏員ヲ置ク

一 書記 何人

二 技術員

何人

三 何々

何人

第四章 事業

第三十二條 何々(例へハ灌溉用水ノ分配、非常ノ早收ノ際ニ於ケル配水、樋管ノ設置及其ノ開閉、分水ノ目標、器水排除、水路浚渫、水源涵養堤防ノ修築、堰埭ノ構造其ノ他組合ノ一部ニ於テ專擅スル事業ノ種類方法等ノ如キモノニ付組合規約中ニ規定スルヲ便宜ナリト認ムヘキ事項ヲ規定スヘシ)

第五章 組合費及夫役現品ノ賦課

第三十三條 何々(水利組合法第五十一條第二項ニ依ルヘキモノヲ規定スヘシ)又同條第一項ニ依ル不均一ノ賦課又ハ組合内一部ニ對スル賦課ニ付組合規約中ニ規定スルヲ便宜ナリトスル場合ハ之ヲ規定スヘシ)

第三十四條 本組合ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ト組合員ノ全部又ハ一部ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ズ

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外組合費(又ハ段別及地租代)ヘ何々ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ

夫役ヲ課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スリヲ得又夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第二十五條 夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サズ又ハ夫役現品ニ代フル金錢ヲ納メサルトキハ管理者ハ期限ヲ指定シテ督促スヘシ其ノ急迫ノ場合ニ賦課シタルモノニ付テ

ハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

第三十六條 水利組合法第五十四條ニ依リ區域内ノ市町村ニ於テ管理者ノ求ニ依リ組合費其ノ他ノ收入ノ賦課徴收ヲ爲ストキハ之ニ對シテ徴收金百分ノ何ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ

水害豫防組合同規約準則

第一章 總則

第一條 本組合ハ某水害豫防組合ト稱ス

第二條 本組合ハ水害防禦ノ爲某川筋某所ノ堤防ヲ修築保存(又ハ何々)スルヲ以テ目的トス

第三條 (普)ノ第三條ニ同シ

第四條 本組合ハ區域内ニ於テ土地家屋ヲ所有スル者ノ外左ノ工作物ヲ所有スル者ヲ以テ組合員トス

一 軌道

二 掘貫井

三 何々

第二章 組合會ノ組織及選舉

第五條 (普)ノ第四條ニ同シ

第六條 組合員ニシテ滿二十五年以上ノ男子區域内ニ於テ土地段別何程(又ハ地租何程)以上家屋建坪何程以上又ハ第四條ニ掲クル工作物ヲ選舉期日前滿一年以上間斷ナク所有スル者ハ選舉權ヲ有ス但シ禁治産者準禁治産者ハ此ノ限ニ在ラス
家督相續ニ依リ土地家屋又ハ第四條ニ掲クル工作物ヲ取得シタル者ハ其ノ土地家屋又ハ工作物

ニ付被相續人ノ所有シタル年限ヲ通算ス

共有者其ノ共有ノ土地家屋又ハ工作物ニ付前二項ニ該當スルトキハ總代人一人ヲシテ選舉權ヲ有セシム

六年以上ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ選舉權ヲ有セス

第七條 (選舉權ヲ有スル者ハ住所地ノ市町村(又ハ大字)ニ依リ所屬ノ選舉區ヲ定ム區域市町村(又ハ大字)内ニ住所ナキ者ハ組合費ノ賦課ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依リ若其ノ物件ニシテ數選舉區ニ涉ル場合ニハ之ニ對スル課税ノ最多キ所ニ依其ノ之ニ依リ難キ場合ニハ本人ノ申出ニ依リ之ヲ定ム)

第八條 (普)ノ第七條ニ同シ

第九條 組合員ニシテ組合費ノ納額選舉權ヲ有スル者ノ最多ク納付スル者三人中ノ一人ヨリモ多キトキハ第六條第一項ノ要件ニ當ラスト雖選舉權ヲ有ス但シ前條ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

帝國法律ニ依リ設立シタル法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ

第十條 (普)ノ第九條ニ同シ

第十一條 (普)ノ第十條ニ同シ

第十二條 (普)ノ第十一條ニ同シ

第十三條 (普)ノ第十二條ニ同シ

第十四條 (普)ノ第十三條ニ同シ

第十五條 (普)ノ第十四條ニ同シ

第十六條 (普)ノ第十五條ニ同シ

第十七條 (普)ノ第十六條ニ同シ

第十八條 (普)ノ第十七條ニ同シ

第十九條 (普)ノ第十八條ニ準ス

第二十條 (普)ノ第十九條ニ同シ

第二十一條 (普)ノ第二十條ニ同シ

第二十二條 (普)ノ第二十一條ニ同シ

第二十三條 (普)ノ第二十二條ニ同シ

第二十四條 (普)ノ第二十三條ニ同シ

第二十五條 (普)ノ第二十四條ニ準ス

第二十六條 (普)ノ第二十五條ニ準ス

第二十七條 (普)ノ第二十六條ニ同シ

第三章 組合吏員ノ組織及選任

第二十八條 (普)ノ第二十七條ニ同シ

第二十九條 (普)ノ第二十八條ニ同シ

第三十條 (普)ノ第二十九條ニ同シ

第三十一條 (普)ノ第三十條ニ同シ

第三十二條 (普)ノ第三十一條ニ同シ

第四章 組合費及夫役現品ノ賦課

第三十三條 (普)ノ第三十二條ニ準ス

縣報 號外

明治四十一年九月十二日

第三種郵便物認可

一五六

- 第三十四條 (普)ノ第三十四條ニ準ス
- 第三十五條 (普)ノ第三十五條ニ準ス
- 第三十六條 (普)ノ第三十六條ニ準ス

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

和歌山久保町二番地
印刷人 友次郎